

下野市立国分寺東小学校

1 学校課題

「主体的・対話的で深い学び」を実現する授業を目指して
～ICT端末を利活用した「対話的な学び」の充実～

2 研究計画

(1) 主題設定の理由

本校ではこれまで「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けて「何のために学ぶのか」、そして「何を学ぶか」だけでなく「どのように学ぶか」を重視した授業の工夫改善に取り組んできた。今年度は学校課題取組の4年目として、これらの研究を継続・深化していきたい。

「全国学力・学習状況調査」や「とちぎっ子学習状況調査」の本校児童の検証分析から、問題の意図を読み解く読解力や言語に関する知識に課題があると分かった。これらの課題解明と小中一貫教育国分寺中学校区実践研究テーマ『学び合いを深める 聴く、伝える、関わる力の育成』も意識して研究を進めていきたいと考える。

そこでは、児童同士の協働、教職員との対話、地域の人との対話等を通じて自己の考えを広げ深めること、先哲の考えを手がかりにして考えることなどの「対話的な学び」の工夫・改善についてICT端末を利活用しながら推進していくこととした。それと共に家庭における実践についてもICT端末の持ち帰りを推進し丁寧な実践を重ねていくことで、シームレスな学びを深めていきたいと考える。更に学習指導要領では「学習の基盤となる資質・能力」の一つに「情報活用能力」が位置付けられたため、各教科等の特性を生かし、横断的な視点から情報活用能力の育成を織り込みながらのICT端末の利活用を進めていく。

(2) 研究の仮説

各教科等においてICT端末を利活用した「対話的な学び」の工夫・改善を推進することにより各教科等の「見方・考え方」を働かせた対話的な深い学びの実現や学習の基盤となる資質・能力としての情報活用能力の向上につながるものとする。

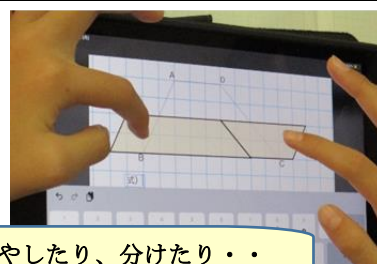
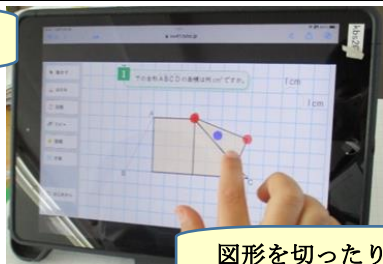
3 研究内容（主なもの）

(1) 授業研究の活性化（S&Uコラボ事業として1学年国語と5学年算数で実践 下記例は5学年）

① 対話的な学びが深まる授業 ② ICT端末の利活用の実践（研究授業を通じた主題への取組）

月日	学年	単元名	課題追究のための手立て等（授業の観点）
11/28	5年	面積の求め方を考えよう （第5学年「B 図形」 （3）「平面図形」）	①課題解決の具体的手段としてICT端末を活用したことは、有効であったか。 ②自分の考えをICT端末を使って友達に説明する活動は、対話的で深い学びを実現させるために有効であったか。

これまで学習した面積の求め方を確認



図形を切ったり、増やしたり、分けたり・・・

【ICT端末の利活用のよさ☆彡】

- 1) 繰り返しできる
- 2) 視覚的な分かりやすさ
- 3) 1枚に収まる
- 4) 一度で元に戻せる
- 5) 苦手な子どもも集中（粘り強さ）

「Dコンテンツ」を活用 同じ形をもう一枚使うと、自然に色が変わる！



相手意識をもたせ、「分かりやすい説明」を心掛けさせた。(対話的な学び)

(2) ICT端末利活用のための研修会の実施

- ① 導入アプリ (GoogleWorkspace、iOS アプリ) 等や様々なコンテンツの利用促進
- ② 対話的な学びを実現させる ICT利活用の実践 (上記研究授業を参照)

ア 一斉 (全体) の学びから、協働あるいは個別最適な学びの場面における利活用

2022年12月21日

あじま先生へ

理科実験データを投稿し、児童と考察の交流

	1	2	3	4	5
溶解した水の重さ (g)	83.6	82.4	83.9	84.0	83.4
溶解した水の重さ (g)	83.5	82.4	83.9	84.0	83.4

食塩を溶かす前の重さと溶かした後の重さは変わらない

【考察】 まちがえました

もしかしたら塩と同じ、砂糖などもそうなるのかなと思った。

2022年12月21日

おうみしげみ 1人の生徒

本日の算数板書です。時間を求める学習でした。公式、数直線のほかに、「みはじ」の図を使って求める裏ワザもあるので、参考にしてください。

Googleworkspace の classroom アプリを活用して、各学級の担任がクラスを作成し、児童とのインタラクティブな交流と学びを実現。家庭学習の充実や学びのシームレス化も図られた。

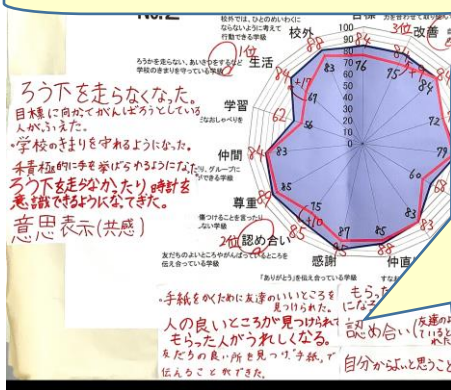
板書事項の投稿、欠席した児童との交流

(3) 学びに向かう集団の育成 (教職員も児童も・・・)

- ① 学級力向上プロジェクトの実践と「まなびの芽」

いいね！で他の先生方もレスポンス

児童による「学級力レーダーチャート」



各学級では年間3回児童アンケートを実施して教室に掲示。「改善点は何かな?」「アクションプランは?」

まなびの芽

ICT

やってみます!

いいね!

学んできました

対話的な学び

実践研究助成

職員室の一角に、先生方による「ICT端末でやってみた」「こんなはどう?」の紹介コーナーを掲示し、共有しています。

4 本年度の成果と課題

(1) 研究の成果

- ① 各教科等の授業をはじめ、様々な児童の学びの場面で「とにかく使ってみよう!」「とにかく児童に使わせよう!」というコンセプトで ICT 端末 (iPad) の利活用を推進したこと、また AppleTV や Googleworkspace の導入に伴い、先生方も意欲的にそれらのアプリを利活用したことにより児童の「主体的・対話的で深い学び」の実現に少しずつではあるが近付いてきている。
- ② 「学級力向上のアンケート」を継続的に進めることで、児童の学びの質が高まりつつある。

(2) 研究の課題

- ① ICT 端末 (iPad) を利活用した「協働的な学び」の方法をさらに工夫していく必要がある。